■平成24年度男女共同参画推進事業

男女共同参画事業を主として展開している事業

基本目標Ⅰ 互いに思いやる人権の尊重と男女共同参画の意識づくり

施策の方向1 男女平等意識の確立

▼施策▲ 男女平等やジェンダーに関する学習機会の提供

事業	平成23年度		平成24年度目標		平成24年度実績
	事業の内容	問題点・今後の課題	事業の内容	目標	事業実施内容
男女共同参画に関するフォーラム・シンポジウム等の開催	<p>【総合政策課】男女共同参画映画会を開催した。</p> <p>日時:平成23年12月17日(土)</p> <p>タイトル:うさぎドロップ</p> <p>参加者:一般市民約300人</p> <p>主催:下野市</p> <p>同時にパネル展示を行い、意識啓発を行った。</p>	<p>【総合政策課】今後事業を実施する際には、来客者への啓発ができるよう工夫を加えた内容で実施したい。</p>	<p>推進委員会と協働して啓発事業(映画会等)を実施する。</p>	<p>【総合政策課】世代を超えた多くの方が参加できるような事業を実施する。→人数的に昨年度(H23年映画会参加者約300人)の来場者を保てるような内容の事業とする。</p>	<p>【総合政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画映画会を開催した。 日時:平成24年12月15日(土) タイトル:人生いろいろ 参加者:一般市民約220人 主催:下野市 ☆推進委員会の協力により、男女共同参画クイズ、映画会に続く茶話会(参加者約40人)を開催した。 パネル展示実施。 男女共同参画シンポジウムin下野市への後援 日時:平成25年1月20日(日) 参加者:一般市民約100人

施策の方向2 固定的な性別役割分担意識の解消

▼施策▲ 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の是正に向けた啓発活動の推進

事業	平成23年度		平成24年度目標		平成24年度実績
	事業の内容	問題点・今後の課題	事業の内容	目標	事業の内容
男女共同参画週間・人権週間の周知	<p>【総合政策課】男女共同参画週間(6月23～6月29日)にあわせてパネル展を開催した。</p> <p>期間:6月1日～6月30日</p> <p>場所:国分寺公民館・南河内公民館・石橋公民館・道の駅しもつけ・国分寺庁舎</p> <p>看板設置による啓発をした。</p> <p>場所:国分寺庁舎玄関</p>	<p>【総合政策課】より多くの方に周知できるように、場所の選定等を工夫する必要がある。</p>	<p>6月の男女共同参画週間にあわせて、啓発のためのパネル展示を実施する。</p>	<p>【総合政策課】展示場所の選定について、これまでに展示実績のない場所での展示を行い、より多くの市民の目に触れるようにする。</p>	<p>【総合政策課】男女共同参画週間(6月23～6月29日)にあわせてパネル展を開催した。</p> <p>期間:6月1日～6月30日</p> <p>場所:国分寺庁舎・きらら館・ゆうゆう館・道の駅しもつけ</p> <p>看板設置による啓発を実施。</p> <p>場所:国分寺庁舎玄関</p>
市民の意識調査の定期実施	<p>【総合政策課】男女共同参画プランの進捗状況を把握するために市民意識調査を実施した。</p> <p>時期:平成23年9月</p> <p>対象:18歳から84歳までの男女2,000人</p> <p>有効回収率:35.5%</p> <p>結果について、男女共同参画推進委員会に報告するとともに、平成24年度広報紙でも市民に周知する。</p>	<p>【総合政策課】意識調査の結果を活かし、個別施策の事業実施に反映させていく必要がある。</p>		<p>【総合政策課】次回の市民意識調査実施:平成27年度(男女共同参画プランの終了年度)までに実施する。</p>	

▼施策▲ 女性問題についての意識の啓発

事業	平成23年度		平成24年度目標		平成24年度実績
	事業の内容	問題点・今後の課題	事業の内容	目標	事業の内容
男女平等意識の啓発のための広報活動と啓発活動の充実	<p>【総合政策課】・男女共同参画情報紙(第6号・第7号)を発行した。</p> <p>・市内各種イベント時にパネルを展示して啓発を行った。11月13日生涯学習センターまつり</p> <p>11月27日 しもつけふくしフェスタ</p> <p>1月8日 成人式</p> <p>2月4日～26日 公民館まつり(3か所)</p>	<p>【総合政策課】男女平等意識を醸成するため、情報紙等の編集の際には、より関心が寄せられるような身近なテーマの選択に努め、啓発に繋げていく。</p>	<p>年2回男女共同参画情報紙を発行する。市内各種イベント時にパネル展示等での啓発を行う。</p>	<p>【総合政策課】職場の中で男女の扱いが平等であると感じている人の割合</p> <p>H23年39.4% → H27年44.0%(データ元:H23市民意識調査)</p>	<p>【総合政策課】</p> <p>・男女共同参画情報紙第8号を発行した(第9号3月発行予定)。</p> <p>・市内各種イベント時にパネルを展示して啓発を行った。11月13日 生涯学習センターまつり</p> <p>11月11日 産業祭</p> <p>1月13日 成人式</p> <p>2月2日～24日 公民館まつり(4か所予定)</p>

基本目標Ⅱ 男女がともに個性や能力を発揮できる社会環境づくり

施策の方向2 職場での男女平等の推進

▼施策▲ 農業・商工自営業におけるパートナーシップの促進

事業	平成23年度		平成24年度目標		平成24年度実績
	事業の内容	問題点・今後の課題	事業の内容	目標	事業の内容
女性の地位や収入の確保を図るための啓発活動、研修・相談の実施	<p>【農政課】農村生活研究グループ協議会の活動において、地域農村女性としての意識高揚と資質向上を図り、また6次産業の推進のため、料理講習会や視察研修等を実施した。</p> <p>開催日:平成23年7月8日 平成23年8月2日</p> <p>平成24年1月17日 平成24年1月18日</p>	<p>【農政課】今後も農業における女性の参画を促進するための機会を設けるよう配慮していく。</p>	<p>地域農村女性の意識と資質の向上のため、料理講習会や視察研修を実施する。</p>	<p>【農政課】集落や地域で積極的に活動ができる女性リーダーの育成をする。</p>	<p>【農政課】</p> <p>・これまで培った技能を披露する主旨で、農村生活研究グループ協議会会員が講師となり、親子クッキングの開催を予定している(2/23)。</p> <p>・6次産業の推進のため、料理講習会や視察研修等を実施した。</p> <p>開催日:平成24年6月19,20日 10月3日 11月27日 平成25年1月29日</p>

施策の方向3 意思決定の場への女性の参画拡大

▼施策▲ 政策決定への男女共同参画の促進

事業	平成23年度		平成24年度目標		平成24年度実績
	事業の内容	問題点・今後の課題	事業の内容	目標	事業の内容
審議会・委員会等への女性参画比率目標の設定による女性登用の促進	<p>【総合政策課】下野市審議会等委員選任指針に基づく女性委員の割合</p> <p>目標 30%</p> <p>平成24年4月1日現在の登用状況 25.8%</p>	<p>【総合政策課】前年度よりも女性の登用率が低下した。審議会等委員の公募実施の際には、積極的に意欲ある女性を登用するよう庁内に周知する。また、市民からの積極的な応募を促進し、公募者の増加を図り、女性登用率の向上に努める必要がある。</p>	<p>庁内各審議会等の委員に、女性の積極的な登用を推進する。</p>	<p>【総合政策課】市の審議会等委員の女性委員の割合目標</p> <p>→30%</p>	/

基本目標Ⅲ 男女が平等に安心して健康で豊かに暮らせる生活環境づくり

施策の方向3 男女間のあらゆる暴力の根絶

▼施策▲ セクシュアル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンス等、男女間のあらゆる暴力の根絶に向けた取り組みの推進

事業	平成23年度		平成24年度目標		平成24年度実績
	事業の内容	問題点・今後の課題	事業の内容	目標	事業の内容
ドメスティック・バイオレンスやストーカー行為の防止のための啓発活動の推進	<p>【総合政策課】・ホームページの「男女共同参画キーワード集」において、「DV」「セクシュアル・ハラスメント」等の用語解説を掲載している。</p> <p>・DV相談カードを作成して、担当課窓口を通じてDV相談窓口の周知を行った。作成枚数 2,000枚</p>	<p>【総合政策課】相談体制の継続・強化、及び男女間の暴力の根絶に向けた取り組みについて、DV基本計画の策定と並行して引き続き推進していく。</p>	<p>広報紙等でDVの相談窓口を案内し、周知に努める。</p>	<p>【総合政策課】DVの相談窓口の未認知度 H23年 46.5% → H27年 35% (データ元:H23市民意識調査) DV基本計画を策定する。</p>	<p>【総合政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業祭や情報センターまつり等のイベント時にDV相談カード配布し、相談窓口の周知を行った。 ・ホームページの「男女共同参画キーワード集」において、「DV」「セクシュアル・ハラスメント」等の用語解説を掲載している。
ドメスティック・バイオレンスや児童虐待等の防止のための相談・カウンセリング体制の充実	<p>【児童福祉課】・相談窓口で関連パンフレットを配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婦人相談・女性相談・母子家庭等の相談体制を広報とホームページに掲載した。 ・家庭相談員、母子自立支援員兼婦人相談員、保健師を配置し、相談体制を確保するとともに、専用電話による相談(女性相談DVホットライン)を受け付け、DV被害者が相談しやすい体制とした。 <p>相談業務(平日9:00~17:00) DV相談受付件数 :22件 うち、専用電話相談受付件数3件 児童虐待受付件数: 45件</p>	<p>【児童福祉課】相談者が安心して話せる相談室が必要であるが、現状の施設では確保が困難である。新庁舎整備にあわせ、相談室の確保を検討していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人相談・女性相談・母子家庭等の相談体制を広報とホームページに掲載する。 ・家庭相談員、母子自立支援員兼婦人相談員、保健師を配置し、相談体制を確保する。 ・専用電話による相談(女性相談DVホットライン)の受付を行う。 ・相談窓口でパンフレットを配布する。 	<p>【児童福祉課】DVや児童虐待等の防止のための相談・カウンセリング体制を継続するとともに、随時周知する。</p>	<p>【児童福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVホットラインコラムを広報に掲載した。 ・相談窓口で関連パンフレットを配布した。 ・婦人相談・女性相談・母子家庭等の相談体制を広報とホームページに掲載した。 ・家庭相談員、母子自立支援員兼婦人相談員、保健師を配置し、相談体制を確保するとともに、専用電話による相談(女性相談DVホットライン)を受け付け、DV被害者が相談しやすい体制とした。 <p>相談業務(平日9:00~17:00) DV相談受付件数 :21件(1月末現在) うち、専用電話相談受付件数4件</p>